

2025年8月1日

関係各位

野村アセットマネジメント株式会社

国際学会IIAI AAI 2025においてBest Paper Awardを受賞

～取締役推薦理由文に基づくスキル・マトリックスの推定・分析～

野村アセットマネジメント株式会社（CEO兼代表取締役社長：小池広靖、以下「当社」）は、国際学会IIAI AAI^{※1}において発表した研究論文“Director Skill Matrix Disclosure and Its Impact on Corporate Performance and ESG Scores: Evidence from Japan”（『取締役スキル・マトリックスの開示が企業業績・ESGスコアに与える影響：日本の事例から』）^{※2}が、最優秀論文に与えられるBest Paper Awardを受賞しました。

2021年6月のコーポレートガバナンス改定では、上場企業による取締役会のスキル・マトリックスの開示が推奨されています。しかしながら、スキルの定義やスキル・マトリックスのフォーマットは各企業に委ねられており、その客観性の欠如や標準化が課題となっています。当社の研究論文では、上場会社の株主招集通知から取得可能な推薦理由文に基づき、取締役のスキルを自動的に推定しました。また、得られたスキルの情報をマトリックス化し、それらが企業の財務指標や非財務指標に与える影響を分析しました。本研究は、各企業の実取締役のスキルの推定に基づき、取締役のスキルと企業業績やESG評価との因果関係を分析することに加えて、スキル・マトリックスを比較可能な形式で推定することを可能とするものであり、スキル・マトリックスを取り巻く上記の課題解決に貢献するものです。

当社は、責任ある機関投資家として、資産運用ビジネスを通じてお客様の資産形成に貢献することに加え、スチュワードシップ活動を通じて「投資の好循環（インベストメント・チェーン）」を生み出し、投資先企業の社会的価値の創造を後押しすることも重視しています。2025年2月には、日本企業のESG評価に使用する「ESGスコア」において、社外取締役のスキルを評価項目に追加しており^{※3}、本研究論文は当該項目の評価プロセスを強化するものです。

当社は、世界のお客様から選ばれる、日本を代表する運用会社になることを目指して、今後も責任ある機関投資家としてESG課題の解決に取り組んでいきます。

^{※1} IIAI(International Institute of Applied Informatics)は、世界の大学関係者や企業研究者等が参加する9つの国際学会を併設した組織です。AAIは、Advanced Applied Informaticsの頭文字をとったもので、高度応用情報学を意味します。

^{※2} 執筆者：山脇大(当社 英国拠点)、田村光太郎氏(株式会社ユーザーベース、現 株式会社野村総合研究所)、高野海斗(当社 資産運用先端技術研究部)、中川慧氏(大阪公立大学)。

^{※3} [社外取締役のスキルとネイチャーポジティブに関する事業機会を日本企業のESG評価に追加](#)

以上